

【ねらい】

- ① ジャンプに興味を持たせるとともに、ジャンプの感覚やリズムをつかむ。

【準備】

- ① タオルや手ぬぐい。
② 軽快な音楽。

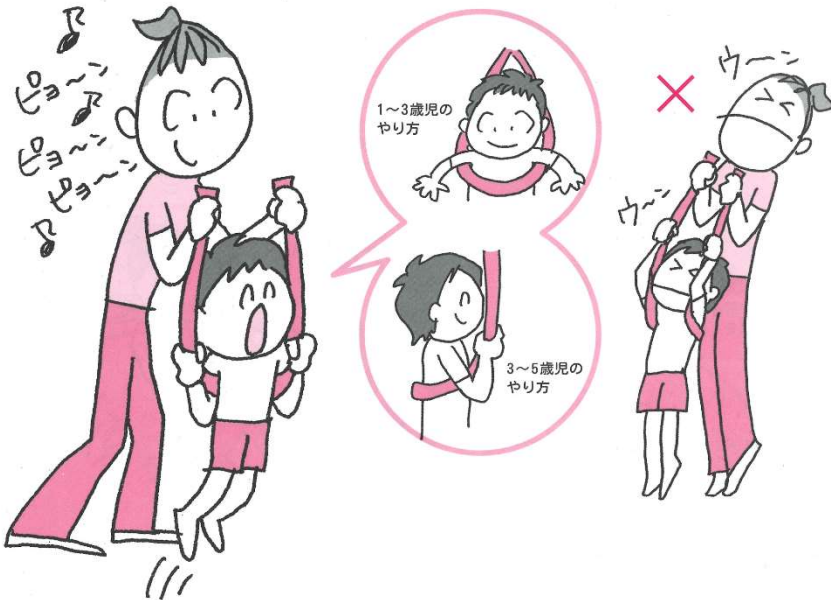
【進め方】

- ① ワキの下にタオルやレジ袋を通し、おとなが後ろから身体を持ち上げて遊ぶ。
② 1,2歳ぐらいの子どもはまだワキを締める力が弱いので、タオルやレジ袋を前から通して、外れないようにしっかりと短めに持つ。

- ④ 子どもがジャンプするリズムに合わせて、上の方に引き上げる。
⑤ おとなと子どものリズムがあってくると、軽やかにジャンプできるようになる。
⑥ この遊びを通じて子どもは、腕とワキの力がつき、膝をバネのように上手に使えるようになる。

【援助のポイント】

- 頭が前のめりにならないように注意する。
 - 最初は少しずつ、ゆっくりと。
 - 前から通すときは、しっかりと短めにもつ。
 - 後ろから通すときは、胸の前で本人に握らせる。



- ③ 3歳ぐらいになってワキを締める力がついてきたら、後ろから通して、胸の前で子ども自身に握らせる。

【アレンジのアイデア】

- ジャンプに対するイメージを持たせるために、活動の前にジャンプの出る絵本を読み聞かせる。
(例) 『ぴょーん』まつおかたつひで作・絵/ポプラ社

